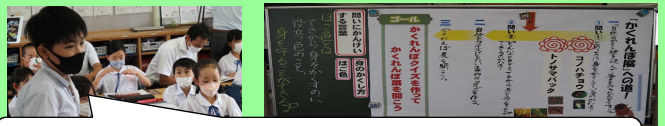


# 第3学年 国語科 保護色を使った生き物たちの知恵を紹介しよう ～『自然のかくし絵』～

学習指導者 小出 早織

## 見通し 1 学習課題を設定する。[情]【「かくれんぼ展」への道】

本時はまず、学習計画と単元のゴールを位置付けた『「かくれんぼ展」への道』を基に、前時までの学習を振り返り、学習計画に沿って本時の学習課題を確認した。その後、「どうしてゴマダラチョウの幼虫のクイズの答えを作るの」と課題設定の理由を問い、全体で共有することで本時の学習課題と単元のゴールとのつながりを意識できるようにした。



ゴマダラチョウの幼虫の答えも作ることができたら、自分のお気に入りの生き物クイズの答えも作ることができると思います。

【価値付け】本時の課題設定の理由を表出させた後、「今日の日当てが達成できたら、お気に入りの生き物クイズも作れそうだね」と共感した。

### ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方についての答えを作ろう

## 行動 2 答えに必要な言葉はどれか考え、班で交流する。[粘]【答え確認ボード】

透明シートに印刷した教材文から、答えに必要な言葉を見付け、個人ごとに色の違うマジックで線を引き、班で1枚のボードで重ねて比較することで、考えの異同を視覚的に捉えやすくした。そして見付けた言葉と、大切だと考えた理由を話し合う際は、ボードを基に、重なりが少ない言葉から取り上げるようにし、答えに必要な言葉について、友達と話し合いながら多様に考えられるようにした。



答えに必要な言葉はどれかな。保護色や身の隠し方に関する言葉に線を引こう。

私と違うところに線を引いているね。どうして、ここに線を引いたのか教えて。

保護色に関係するから、「周りの色が変わるにつれて、体の色を変える」が答えに必要だよ。



## 行動 3 ゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方の答えを作る。[粘]【答え確認ボード】

子供が見付けた、答えに必要な言葉について、全体で交流する時間を設けた。その後、共有したことを基に、各自でゴマダラチョウの幼虫の答えを作る時間を設けることで、答えに必要な言葉について再考できるようにした。



「周りの色が変わるにつれて」と「エノキの葉が黄色くなるにつれて」は、どちらも同じ意味だよ。

【価値付け】再考後、「友達と話し合いながら答えに必要な言葉についてたくさん考えたから、ゴマダラチョウの幼虫の身の答えも作ることができたね」と称賛した。

## 振り返り 4 本時の学習を振り返る。[自]【学びマップ】

振り返りでは、「問いに関する言葉を見付けられたか」「自分の考えを相手に伝えることができたか」について、自分の頑張りを3段階で振り返るとともに、「次にしたいこと」を学びマップに書きためて一覧で見られるようにすることで、自分の頑張りが実感できるようにした。

ゴマダラチョウの幼虫の答えも作ることができた。「かくれんぼ展」を開くために、2つ目の問いでも答えを作る練習をしたい。



【価値付け】自分の頑張りを捉えている姿を「今日の学習を振り返って自分の頑張りを見付けられているね」と称賛し、次にしたいことを見付けている姿を「自分のことを振り返られたから次の目標を見付けられているね」と称賛した。

### 考察 (○：成果, ●：課題)

- 単元のゴールと学習課題とのつながりを示すことで、本時の課題を解決することの価値を感じさせることができた。
- 答え確認ボードを使うことで、考えの異同を視覚的に捉えやすくしたことで、自分の考えと友達のことを比べながら話し合うことができた。
- 班交流では、話し合う目的が十分に理解できていない班があり、線を引いた部分を共有しただけになっている班があった。